

決算説明資料

2020年3月期 第1四半期

代表取締役社長 長谷川 聡

2019年8月14日

© 2019 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous AI Corporation makes no warranties, express or implied, in this summary.



Index

- 第 1 四半期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第1四半期 業績の概要

第1四半期（累計期間）の概況

業 績

- ・ 売上高・営業利益ともに概ね前年並み
- ・ 連結売上高 : 506百万円（前年同期比0.4%減）
- ・ 連結営業損失 : 31百万円（前年同期 営業損失28百万円）

セグメント別概況

ソフトウェアプロダクト事業

高速起動関連のロイヤルティ売上が堅調、コネクティビティ&セキュリティ関連の受託開発案件が減少、事業の収益性は改善

ソフトウェアディストリビューション事業

既存顧客からのロイヤルティを中心に概ね堅調

ソフトウェアサービス事業

コンテンツライセンスを中心に概ね堅調
受託開発案件の検収期ズレ発生により対前年比で収益減少も受注は順調

連結損益計算書

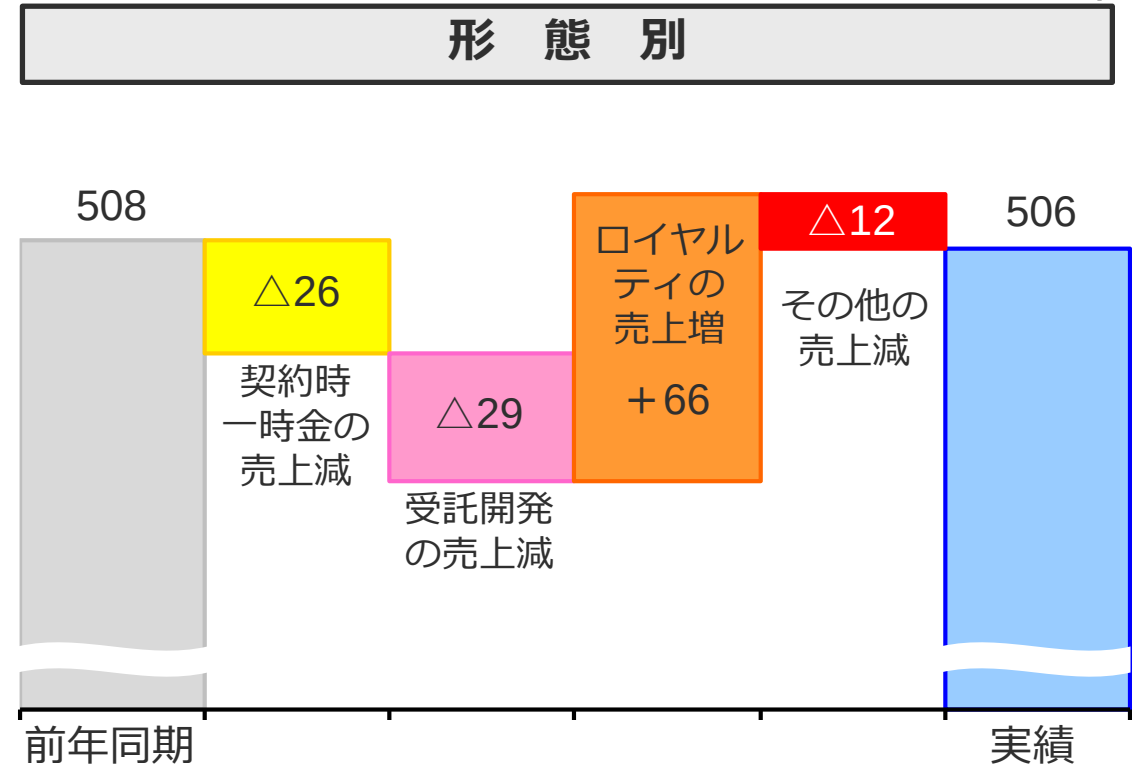
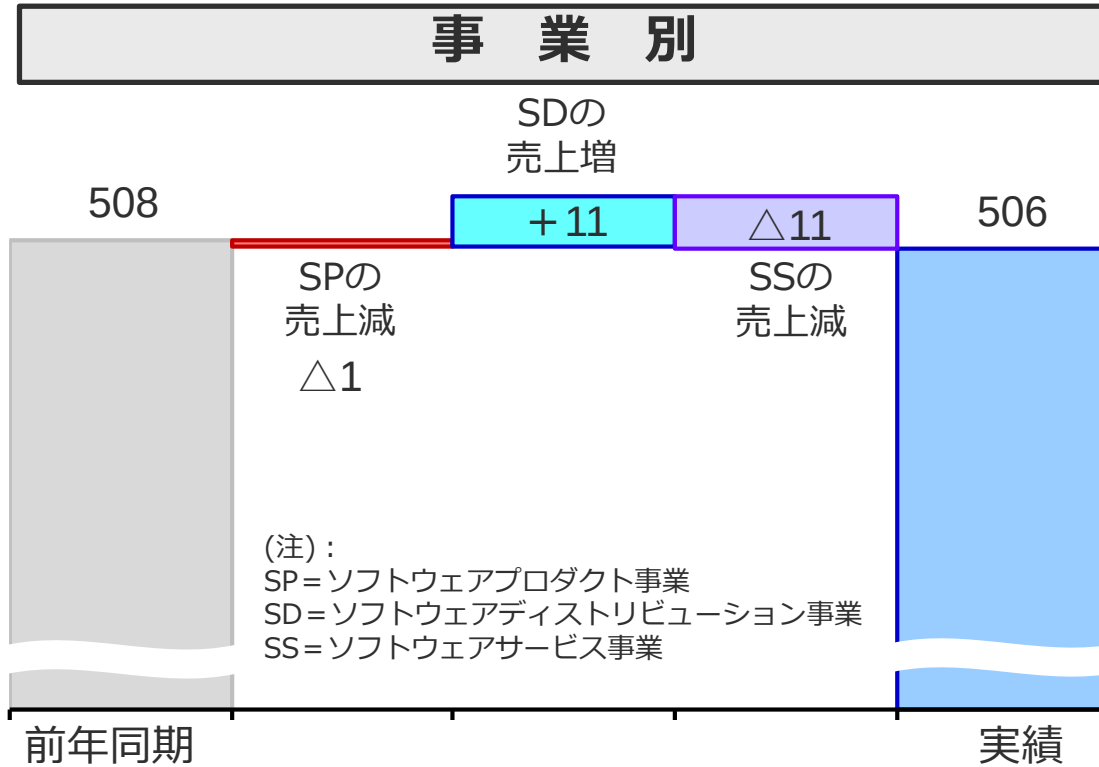
(単位：百万円)

	前年同期	2020/3期 (第1四半期)	増減
売上高	508	506	△1
売上原価	258	281	22
売上総利益	250	225	△24
販管費	278	257	△21
営業利益	△28	△31	△3
営業外損益	1	1	△0
経常利益	△26	△30	△3
特別損益	△0	-	0
法人税等	9	5	△4
四半期純利益	△36	△35	0

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比増減：売上高

(単位：百万円)

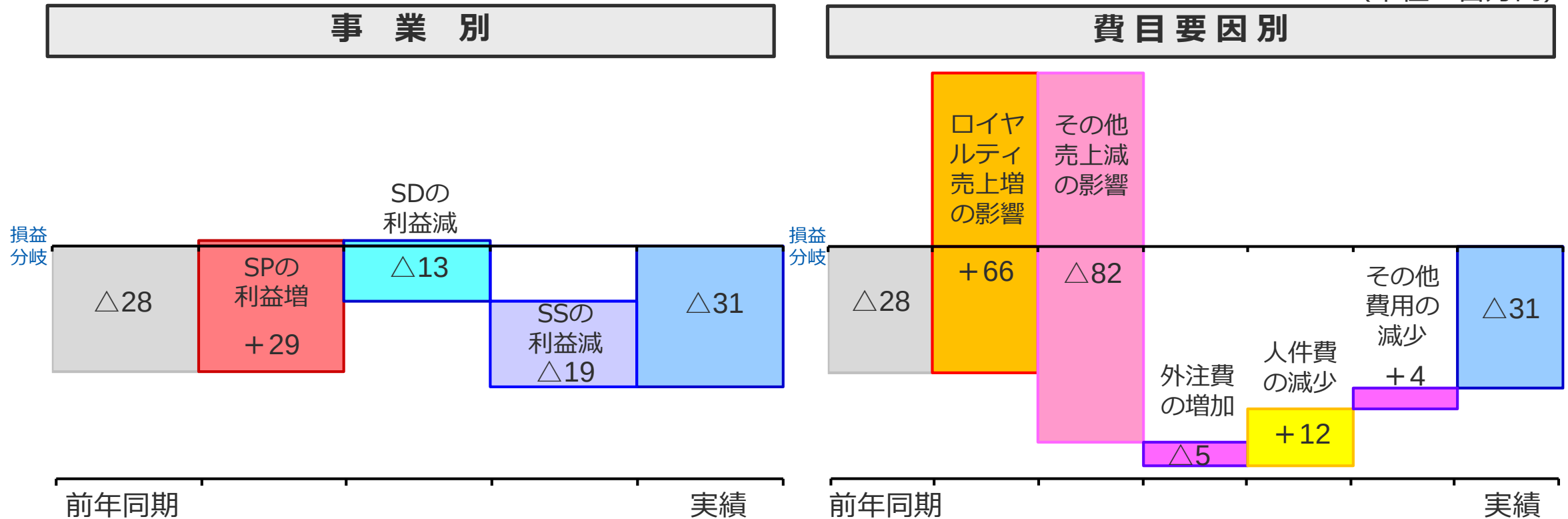


■ 前年同期比 売上高：微減

- SP事業： 契約時一時金売上、受託開発売上が減少、ロイヤルティ売上が増加
- SD事業： 契約時一時金売上他が減少、ロイヤルティ売上が増加
- SS事業： 検収期ズレ等により受託開発売上が減少

前期比増減：営業利益

(単位：百万円)



■ 前年同期比 営業利益：微減

- ロイヤルティ売上は増加したが、その他の売上減が影響
- SP事業：ロイヤルティ売上増と受託開発売上減少により採算性が改善、営業利益が増加
- SD事業：原価率増加により粗利率が低下、営業利益が減少
- SS事業：受託開発の期ズレによる売上高減少の影響で、営業利益が減少

連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	2019/3月末	2019/6月末	増減
現金・預金	1,159	1,208	49
受取手形・売掛金	675	444	△231
有価証券	400	500	100
棚卸資産	22	29	6
前払費用	69	61	△7
その他流動資産	57	78	20
流動資産	2,384	2,321	△62
のれん	526	474	△52
その他固定資産	304	285	△18
固定資産	831	759	△71
資産合計	3,215	3,081	△133

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	2019/3月末	2019/6月末	増減
買掛金	153	105	△48
未払金	59	36	△22
前受金	110	98	△12
その他流動負債	75	68	△7
流動負債	399	308	△90
固定負債	80	80	0
資本金	1,482	1,483	0
資本剰余金	1,452	1,453	0
利益剰余金	△236	△272	△35
その他純資産	37	28	△8
純資産	2,735	2,692	△42
負債・純資産合計	3,215	3,081	△133

通期業績予想（連結）に対する進捗

（単位：百万円）

	通期 業績予想	第1四半期 実績	進捗率（%）
売上高	2,419	506	20.9
営業利益	10	△31	—
経常利益	10	△30	—
純利益	8	△35	—

セグメント及び製品分野別 動向と取り組み

セグメント変更について

■ 当第一四半期より、以下のセグメントの変更を実施

- 「コネクティビティ & セキュリティ事業」と「組込みソフトウェア事業」を、自社開発製品に関するセグメントとして「ソフトウェアプロダクト事業」に統合

<旧セグメント>

セグメント	分野
組込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアディストリビューション事業	
ソフトウェアサービス事業	



<新セグメント>

ソフトウェアプロダクト事業
ソフトウェアディストリビューション事業
ソフトウェアサービス事業

対前期比増減:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2020/3期 第1四半期 (連結)	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ	61	31	△48.8
	データベース	35	23	△34.1
	高速起動	55	95	73.6
	小計	151	150	△1.0
ソフトウェアディストリビューション事業		258	270	4.5
ソフトウェアサービス事業		98	86	△12.1
合計		508	506	△0.4

対前期比増減:セグメント別売上及び利益

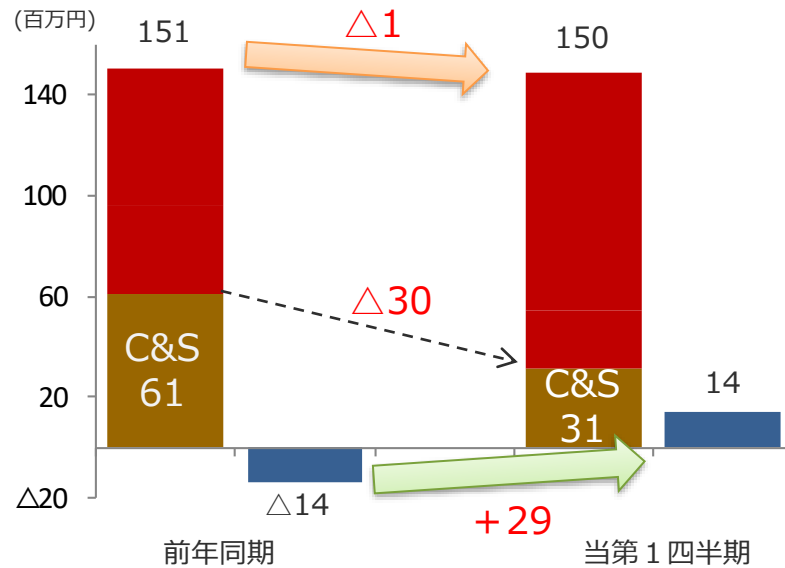
(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2020/3期 第1四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト 事業	売上高	151	150	△1
	セグメント利益	△14	14	29
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	258	270	11
	セグメント利益	※1 △22	※1 △36	△13
ソフトウェアサービス 事業	売上高	98	86	△11
	セグメント利益	※2 8	※2 △10	△19

※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 26百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 25百万円を含めております。

コネクティビティ & セキュリティ関連

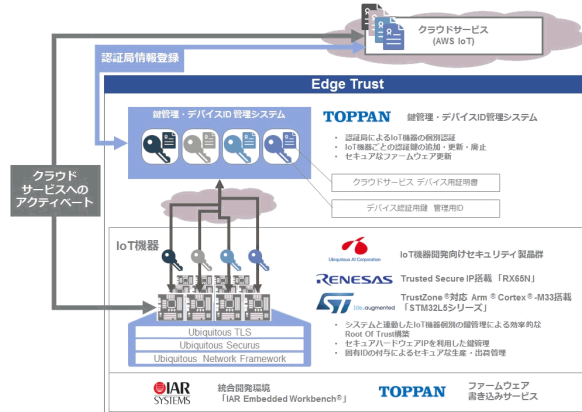


■ 当四半期概況

- スマートエネルギー（電力/ガス）関連案件で「Ubiquitous Network Framework」に関する受託開発等の収益を獲得
- デジタルイメージング関連等の案件で受託開発売上等を計上
- 2019年4月には、組み込み機器にクラウドベースの音声サービスAmazon Alexaを搭載するためのソフトウェア開発キット「Ubiquitous Voice Service Connect」を9月に販売開始することを発表

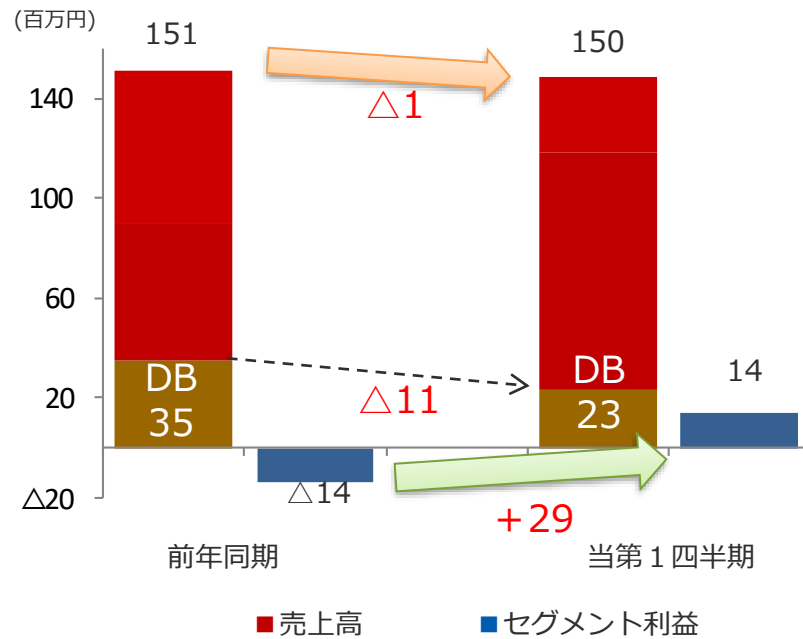
■ 取組方向性

- 新製品「Edge Trust」によるIoTセキュリティ分野での事業展開の加速：半導体/半導体部品メーカー、販社との連携強化、ソリューション提供によるサービスも含めた拡販展開
- ディストリビューション事業取扱い製品の一部（セキュリティ関連）、パートナーとの開発連携によるネットワーク、セキュリティを中心とした製品ラインナップの強化・充実
- 車載、産業、その他IoT市場に向けたセキュリティ関連製品の拡販活動



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ & セキュリティ関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

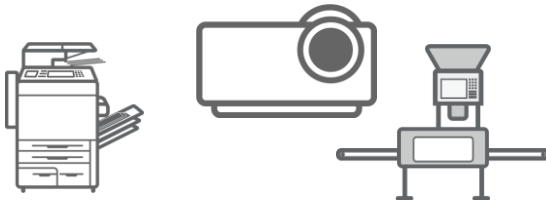


■ 当四半期概況

- ー 産業機器等の既存顧客のロイヤルティ売上等を計上

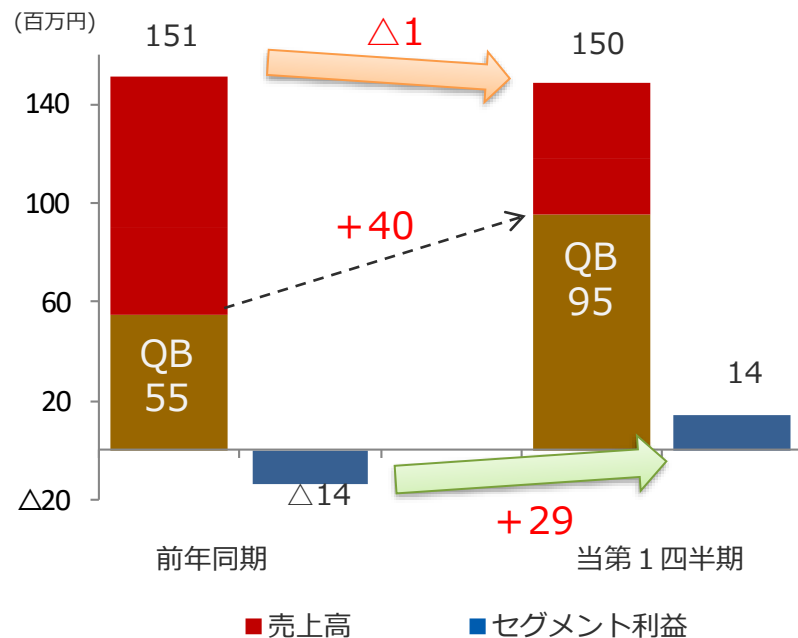
■ 取組方向性

- ー 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- ー 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連



■ 当四半期概況

- 既存の車載機器関連、海外民生機器の顧客からのロイヤルティ売上が堅調に推移
- 引き続き、カーナビ等車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模案件の研究開発継続、及び商品化に向けた新規案件を受注

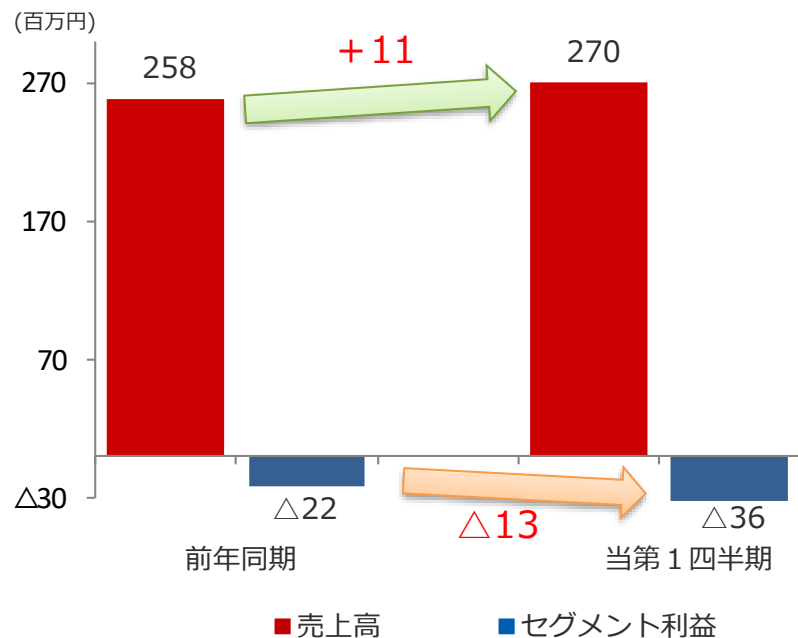
■ 取組方向性

- 車載情報端末以外の車載機器向けの拡販を強化
- Tuxera社との協業により海外顧客の拡販を強化
- 電源断対応ファイルシステムや仮想化技術、セキュアブートなどの機能組み合わせなど付加価値の高いソリューション化、クロスセルを推進
- 次世代技術開発の継続



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上です。

ソフトウェアディストリビューション事業



■ 当四半期概況

- ワイヤレス製品では、デジタルイメージング等の既存顧客から「Blue SDK *1」のロイヤルティ売上等を計上
- BIOS製品では、ノートブックPC、OA/FA機器の既存顧客から「Insyde H2O *2」のロイヤルティ売上、受託開発売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品では、車載機器、医療機器等の既存顧客から「CodeSonar *3」やECU関連開発ツールなどリピート及び新規顧客から年間ライセンス及びサポート売上を計上
- キャリアグレード製品では、ネットワーク機器の既存顧客から「ConfD *4」のロイヤルティ売上等を獲得
- 「CoDriver *5」の引き合いが好調で、新規顧客との間での契約時一時金売上を獲得し、多数の顧客に対して営業活動を行う
- その他、多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

- 米国のBeyond Security社とIoT機器の脆弱性・セキュリティ検証のための新ツール「beSTORM X」を共同開発・販売開始、新たな取り組みとしてIoTセキュリティ検証サービスを推進
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進
- 訴求力のある新規取扱い製品を拡充し、売上・利益の拡大を図る

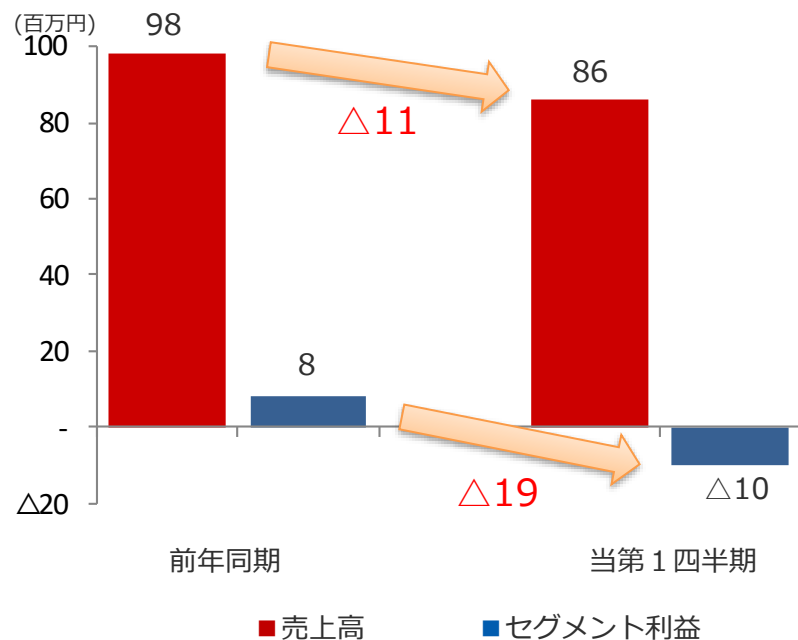
*1 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*2 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*3 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール

オンデバイスネットワーク機器管理用ソフトウェア

*5 CoDriver: ドライバモニタリングシステム



■ 当四半期概況

- 既存顧客との各種受託開発売上を計上
- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

RISC-V対応の商用リアルタイムOSを販売開始

■ 「TOPPERS-Pro/ASP」がRISC-V※1対応、販売開始

- TOPPERS-Pro/ASPは、NPO法人TOPPERSプロジェクトが開発したオープンソースカーネル「TOPPERS/ASP」をベースに、当社が開発・販売しているリアルタイムOS（「RTOS」）ソリューションパッケージ
- RISC-Vは、カリフォルニア大学バークレー校で開発が始まり、現在は非営利団体RISC-V Foundationで管理されているオープンな命令セットアーキテクチャ（Instruction Set Architecture : ISA）
- RISC-Vは、ISAを使用するためのライセンス料が不要であり、その開発は、Google、IBM、Qualcomm、Samsungなど多くの企業が参加する大規模なプロジェクトとなっており、大きな注目を集めている

■ 組み込み機器の高性能化、低価格化を実現

- 半導体ベンダーは、プロセッサをより安価に提供できるようになる
- IoT機器メーカーは、製造コストの低減や、低減した費用を使った機能追加・高性能化によるIoT機器の付加価値を上げたりできる
- RISC-Vは、常にコスト削減が求められている制御/通信機器向けのマイクロコンピュータの置き換えや、生産台数の多いIoT機器、次世代携帯端末向けなどでの普及が期待されている
- 当社は、Linuxを採用しづらい小規模システムや、RTOSを使った従来のマイコン搭載機器の置き換えに適したRTOSを提供し、IoT機器の高性能化、低価格化に貢献してまいります

■ TOPPERS-Pro/ASPの特長

- μITRON4.0仕様スタンダードプロファイルに準拠したRTOS
- 当社が独自に機能を拡張
- 対応ミドルウェアおよび対応ツールの提供
- 当社による保証提供
- 保守サービス、技術サポートの提供
- ポーティング、カスタマイズやドライバ開発等のサービスを提供

■ サポート機能

- TOPPERS-Pro/ASP3は以下の機能をサポート

通常タスク	タスク起動・終了	タスク付属同期	タスク例外	セマフォ
イベントフラグ	データキュー	メールボックス	周期ハンドラ	固定長メモリブール
システム時刻	割込みハンドラ	CPU 例外ハンドラ	割込みサービスルーチン	アラームハンドラ
優先度データキュー	割込みラインマスク	割込み優先度マスク	ミューテックス ^(注)	メッセージバッファ
オーバーランハンドラ	動的生成	制約タスク		

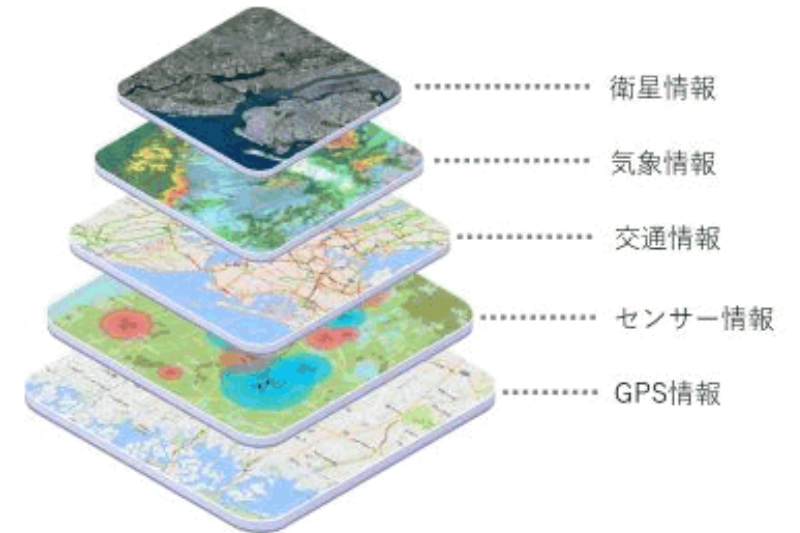
■ : Extension 適用時の機能。

注 ミューテックス：優先度上層プロトコルのみサポートし、優先度継承プロトコルは未サポート。

AIを活用した空気質モニタリングサービスを提供開始

■ 空気質（エアクオリティ）モニタリングサービス「BreezoMeter」のAPI※1を提供開始

- BreezoMeter(本社:イスラエル)が開発した世界中のPM2.5、NO2、SO2、オゾン、花粉などの空気質に関するビッグデータをリアルタイムで分析・予測・追跡するサービス
 - 既に世界 92 か国で 8,400 万人以上が BreezoMeter のデータを利用
 - 同社は空気質の状態が事業と密接に関わるスマートホーム、スマートシティ、自動車、ウェルネス、フィットネス、化粧品などを取扱う様々な企業に対し API を通じてサービスを提供
 - BreezoMeter の空気質モニタリングサービスは、世界各地の47,500台のセンサーからビッグデータを生成し、毎時1.8TB以上のデータを検証、AIを用いた独自の分散アルゴリズムにより解析した情報を提供
- BreezoMeter 基本API
 - 空気質API : リアルタイムに空気質データを取得
 - 履歴API : 汚染履歴を表示
 - 予測API : 最大 4 日間の予測が可能
 - ヒートマップAPI : 汚染ヒートマップを表示
 - 花粉API : 花粉飛散数を取得
- BreezoMeter 採用実績
 - ダイソン社やBlue Air社の空気清浄機
 - HELLA社の車載エアクオリティ管理システム
 - Johnson Controls社の空調機器
 - ALK社のアレルギー治療
 - 製造販売を中心とする企業だけでなく、Faurecia社のスマートシティダッシュボードなど公共の場でも幅広く採用



*1 API (Application Programming Interface) : ソフトウェアを操作するためのインターフェースの仕様。本来、必要となるプログラムの作成を省略し、開発を効率化できる。

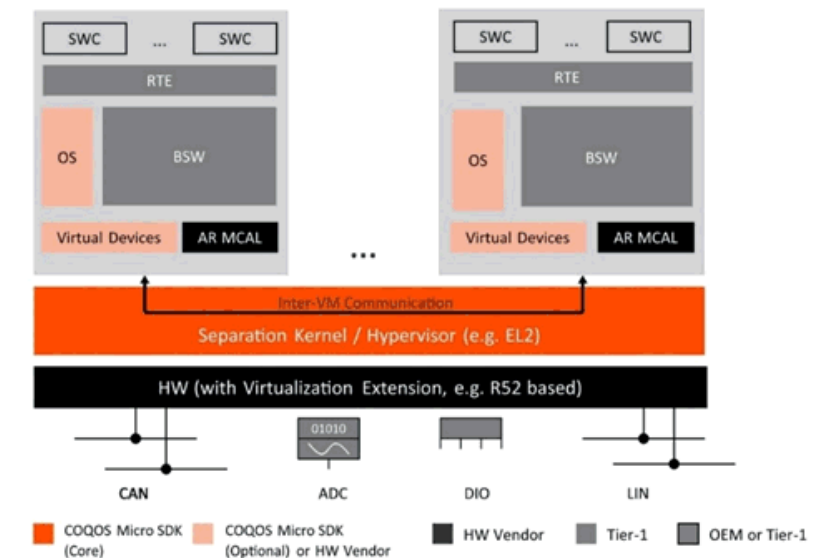
「COQOS Micro SDK™」の取り扱いを開始

■ 機能安全規格の最高レベルASIL-D※1に対応した車載ECU向けハイパーバイザー※2

- OpenSynergy GmbH（本社:ドイツ）の車載ECU向けハイパーバイザーCOQOS Micro SDK™は、異なる安全性要求レベルを備えた複数のソフトウェアを、独立した仮想マシン（以下「VM」）上で統合するための車載ECU向けハイパーバイザー
- 自動運転で必要とされる高性能で堅牢なシステムを実現するためのソリューションとして、安全性を確保しながら、ソフトウェアの再利用性を高めることで、開発期間を大幅に短縮

■ 複数のOS/ソフトウェアを一つのマイクロコントローラー※2上に安全に統合

- 仮想化支援ハードウェアを活用
- メモリの分離・保護によりVM間の相互干渉を防止
- 時間パーティショニングによりVMの実行時間を保証
- マルチコアをサポート
- VM間でメモリの分離・保護が可能。VM間通信を
- VM単位での再起動、ソフトウェアアップデートが可能
- AUTOSARメソッドロジーに従ったコンフィグレーションをサポート
- ASIL-DのSEooC（Safety Element out of Context）として提供可能
- 対応プロセッサ：Arm Cortex-R52
対応済マイクロコントローラ：NXP S32Sシリーズ



<COQOS Micro SDK™構成図>

*1 ASIL（Automotive Safety Integrity Level：安全性要求レベル）

:ISO 26262（国際的な自動車用機能安全規格）では、車載電子システムに起こり得るさまざまな障害（ハザード）を避けるために達成すべき安全性のレベルをA～Dの4段階で定義する。ASIL-Dは、最高レベルを示す

*2 ハイパーバイザー

:コンピュータを仮想化するためのソフトウェア 物理的なマシンの中に仮想マシンを複数作成し、相互のOSが干渉し合わないよう動作させるなどの目的で使用する

*3 マイクロコントローラ:コンピュータシステムをひとつの集積回路に組み込んだハードウェアを制御するためのもの

Appendix

2020年3月期 第1四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第1四半期	4月 3日	■ ユビキタスAIコーポレーション、組込み機器にクラウドベースの音声サービスAmazon Alexaを搭載するためのソフトウェア開発キット「Ubiquitous Voice Service Connect」を9月に販売開始 ～第1弾としてオン・セミコンダクターのオーディオ処理LSI（LC82345xシリーズ）に対応～
	4月18日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoT機器に最適化したセキュリティ検証サービスの提供を開始 ～政府調達や各種認証に必要なセキュリティ要件を低コストで満たせるよう検証工程を支援～
	4月25日	■ ユビキタスAIコーポレーション、TOPPERS第3世代カーネル統合仕様準拠製品のラインナップを拡充 ～マルチプロセッサおよびメモリ保護/時間保護に対応～
	5月14日	■ ユビキタスAIコーポレーションが取り扱うJungo社の「CoDriver」が、ドライバーモニタリングシステムとして初めてRGB-IRカメラに対応 ～照明条件の厳しい夜間でも眼鏡着用者の視線を検知でき、用途が大幅に拡大～
	6月 6日	■ ユビキタスAIコーポレーション、RISC-V対応の商用リアルタイムOSを6月6日（木）販売開始 ～高速動作・省メモリの商用RTOSで、組込み機器の高性能化、低価格化を実現～
第2四半期 （参考）	7月 9日	■ ユビキタスAIコーポレーション、AIを活用した空気質（エアクオリティ）モニタリングサービスを7月9日（火）に提供開始 ～PM2.5、NO2、SO2、オゾン、花粉などの空気質データを独自分散アルゴリズムで解析～
	7月10日	■ ユビキタスAIコーポレーション、車載ECU向けハイパーバイザー「COQOS Micro SDK™」の取り扱いを7月10日（水）に開始 ～機能安全規格の最高レベルASIL-Dに対応したハイパーバイザープラットフォーム～
	7月29日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoTデバイス向け軽量TLS/SSLプロトコル「Ubiquitous TLS」がTLS1.3に対応 ～国内初、自社開発によるIoTデバイス向け商用版スタックとして販売開始～

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation